

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取り組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、3カ年の中期経営計画（2022-2024年度）のもと、成長戦略の3本柱として（1）イノベーションによる成長の加速、（2）稼ぐ力の最大化、（3）レジリエントな企業体質の構築、を掲げ、収益向上とESG課題解決の好循環による持続的成長を目指すサステナビリティ経営を重視しています。成長分野における新たな価値創造のための重点投資を継続するとともに、既存分野における収益獲得機会の最大化により、収益性の更なる向上を図り、需要変動に左右されにくい事業構造の構築を進めていきます。

こうした中期経営計画の推進を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、人材投資を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指してまいります。

（個別項目）

具体的な取り組みの一例として、当社では従来より、労使で「強いコマツNTC」（会社の成長・発展）と「良いコマツNTC」（従業員の働き甲斐や労働条件等の向上）の両立に向けた議論・取り組みを年間を通じて行っています。今後もこうした活動を継続し、賃金の引上げについては、毎年の定期昇給に加えて、社内外の環境や課題を踏まえつつ、個々の意欲や成長につながる適切な実施を検討しております。また、その他の人材投資として、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、グローバルエンゲージメントサーベイの定期的な実施・フォローによる社員エンゲージメントの向上、AI/DX人材教育等、様々な従業員の能力開発に積極的に取り組み、会社・従業員双方の持続的な成長・発展を目指してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【 2023年4月20日 】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【 <https://www.biz-partnership.jp/declaration/28444-05-18-toyama.pdf> 】

3. その他のステークホルダーに関する取り組み

コマツグループは、世界的な気候変動や様々な外部環境の変化に対応するため、更なる持続可能な社会の実現と事業の成長を目指した「サステナビリティ基本方針」を策定しています。

- ・ サステナビリティ基本方針の URL

【 <https://komatsu.disclosure.site/ja/themes/201> 】

これらの項目について、取り組み状況の確認を行いつつ、着実な取り組みを進めてまいります。

以上

2023年5月8日

コマツ NTC 株式会社

法人名

代表取締役社長 高橋正明

役職・氏名（代表権を有する者）